

令和8年度 和歌山市立宮北小学校 スクールプラン

学校長 西井 恵美子

作成日 令和8年5月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

心身ともに健やかで、たくましく生きる
子供の育成

前年度の学校評価

- 子供を主語にした授業づくり、生活科・理科研究、取組を継続する
- 基礎学力が安定して身につけている
- 上級生と下級生のかかわりが温かい雰囲気醸成している

保護者・地域の願い

- 元気に登校し、学校生活を楽しんでほしい
- 宮北地区を愛する子になってほしい
- 安心で安全な環境づくり
- 学力の定着と向上

【めざす児童像】

- よく考え、自分で判断できる子
- 心豊かでやさしい子
- 心身ともにたくましい子

児童の実態

- 素直でやさしい子供が多い
- 清掃や係・当番活動に真面目に取り組む
- 地域とのかかわりを大切にする
- 自ら問題を発見し、解決に向けて持てる力を発揮する活用力をもっと身につけてほしい

重点目標

確かな学力の向上

- すべての学習において子供主体の学習を基本として行う
- 探求型学習の実践、展開を図る
- 基礎学習の充実を図る

豊かな心の育成

- お互いを理解し、支え合うことができる学級づくりを目指し、自尊感情の高まり、他者理解の深まりを図る
- 道徳教育、人権教育を通して子供の心を耕すように努める

健やかな体の育成

- 持久力・体力向上の推進
- 「全校活動」を中心とした基礎体力の充実
- 健康安全にかかる学習の推進、充実

地域とともにある学校

- 地域人材を積極的に活用し、学校と地域の方のつながりを深める
- 情報を積極的に発信し、保護者・地域との信頼関係を深める

具体的な取組

- 生活科、理科、総合的な学習を中心に、体験的な学習やフィールドワーク等を積極的に取り入れ、子供の興味関心を重視した学習を構想する。
- 授業改善、新しい学習を創造する視点を持ち、子供主体の楽しい学習を展開する。
- タブレットを効果的に活用し、学習の理解向上や効率化を図る。
- 子供が自身の学びを実感できる振り返りの場を設定する。

- 互いに支え合う学校・学級風土づくりを進める。心のケアの重視
- 行事、児童会活動等、全校で心をつなげる取り組みを工夫しながら進め仲間意識を育てる。
- 話し合い活動や体験活動を多く取り入れ、広がりや深まりのある豊かな学習を進める。
- 情報モラルやSNSとの付き合い方等についての学習を行い、学校と家庭の連携を図る。

- 体を動かすことの楽しさを感じられるよう遊びを提案したり、積極的に外遊びを呼びかけたりする。
- 「全校活動」で基礎体力作りにつながる活動を取り入れる。
- 毎日の生活リズムを大切にし、早寝・早起き・朝ごはんを推奨する。
- 保健指導において様々な学習(薬の飲み方・歯みがき・喫煙防止等)の指導充実を図る。

- 日々の教育活動や子供たちの様子を学校だよりやホームページ、参観や集会等で積極的に発信する。
- 開校100周年を節目とした記念行事や学習、活動に取り組む。
- 地域の見守りに感謝し、気持ちの良い元気な挨拶ができる子供を育てる。
- 地域人材や学習材を積極的に活用する。

指標

- ・「毎日の勉強がよくわかる」(児童90%)
- ・「子供は学習内容がわかり、基礎的な学力が身につけている」(保護者90%)
- ・「子供主体の学習を実現しようとした」(教師90%)

- ・「学校が楽しい」(児童90%)
- ・「子供は毎日楽しそうに学校に通っている」(保護者90%)
- ・いじめの解消率100%

- ・「外で元気に遊ぶ」(児童80%)
- ・「給食の時間が楽しめた」(児童80%)
- ・積極的に体を動かすよう計画し、実践した(教師90%)

- ・「学校は、教育活動や子供の様子をわかりやすく伝えようとしている」(保護者80%)
- ・地域や保護者と連携した取組を実践できた(教師80%)

◎：特に重点的に取り組むこと